

かごしまCLTシンポジウム

～ CLTで広がる木造建築の可能性～

今、CLT(直交集成板)が注目されています。

従来、中規模以上の建築物は、鉄筋コンクリート造や鉄骨造で建設されることが一般的でしたが、CLTを用いた建築物の一般的な設計法が国土交通省の告示として示されたことにより、複雑な手続き等を経ずに木造による中規模建築物の建設が可能となりました。

このシンポジウムでは、木造建築の魅力やCLTがもたらす木造建築の可能性について、それぞれの立場から語り合ってください。

新たな木造建築に興味がある方、集合住宅などを木造でつくりたいと考えている方、CLTに興味がある技術者の方など、この機会に是非ご参加ください。

平成29年

3月4日(土)

13:30～16:30

受講料無料

定員
150名

申込方法

裏面に氏名等をご記入いただき、FAXでお申し込みいただくか、下記問合せ先まで電話でお申し込みください。

場所：マリンパレスかごしま

鹿児島市与次郎2丁目8番8号 TEL:099-253-8822

申込先(業務受託者)

鹿児島県木造住宅推進協議会
〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16番228号
(公財)鹿児島県住宅・建築総合センター内

☎ **099-224-4543**
FAX: 099-226-3963

※いただいた個人情報は、「かごしまCLTシンポジウム」の開催にのみ使用します。



カリキュラム

あいさつ	13:30～13:35(5分)	鹿児島県環境林務部
【基調講演①】 森林資源活用の意義・必要性	13:35～14:20(45分)	有馬 孝禮 (東京大学名誉教授)
【基調講演②】 建築へのCLT活用の可能性	14:20～15:05(45分)	武松 幸治 (建築家、E.P.A環境変換装置建築研究所代表)
休憩	15:05～15:15(10分)	
【パネルディスカッション】 木造建築の魅力とCLTの可能性を語る	15:15～16:30(75分)	

コーディネーター・パネリスト

コーディネーター	有馬 孝禮	東京大学名誉教授
パネリスト	武松 幸治	建築家、E.P.A環境変換装置建築研究所 代表
	渋沢 龍也	国立研究開発法人 森林総合研究所 複合材料研究領域 複合化研究室長
	佐々木 幸久	山佐木材株式会社 代表取締役
	加治木 百年	株式会社センチュリーハウス 代表取締役

[主催] 鹿児島県



FAX: 099-226-3963

鹿児島県木造住宅推進協議会 事務局
(公財) 鹿児島県住宅・建築総合センター 企画課 行
申込締切: 平成29年2月28日(火)
※但し、定員になり次第、締め切ります。

申込記入欄

氏名	TEL: () -	FAX: () -	参加人数	名
----	------------	------------	------	---

講師・コーディネーター・パネリスト プロフィール

ありまたかのり

有馬 孝禮 (東京大学名誉教授)

■略歴

1942年 生まれ

東京大学農学部林産学科卒業、同大学院修士課程林産学専修修了

東京大学大学院農学生命科学研究科教授、宮崎県木材利用技術センター所長など経て、現在東京大学名誉教授

■研究分野

木材、木質材料、木質構造など木材利用に関する分野

■社会活動

林政審議会会長、日本木材加工技術協会会長、NPO 木の建築フォーラム代表理事など歴任し、現在 (一社) 木と住まい研究協会代表理事、(公財) 日本住宅・木材技術センター客員研究員、(一社) 日本建築センター木質系構造評定委員会委員長など

■著書

「なぜ、いま木の建築なのか」、「木材の住科学」など



Photo / Masayuki Hayashi

たけまつ ゆきはる

武松 幸治 (建築家、E.P.A 環境変換装置建築研究所 代表)

■略歴

1963年 長崎県波佐見町出身

1986年 多摩美術大学 美術学部建築科卒

1987年 株式会社ユニテ設計・計画

1988年 都市建築ワークショップロンドン AA スクール サマーセミナー参加

1991年 環境変換装置建築研究所一級建築士事務所 (EPA) 設立 現在に至る



しぶさわ たつや

渋沢 龍也 (国立研究開発法人 森林総合研究所 複合材料研究領域 複合化研究室長)

■略歴

1994年 東京大学大学院農学系研究科林産学専攻博士課程修了

1994年 森林総合研究所木材化工部複合化研究室研究官

2006年 森林総合研究所複合材料研究領域複合化研究室長 現在に至る

■研究分野

木質材料の性能評価や木質構造物の耐久性能、合板・構造用パネルの JAS 規格原案作成委員会、繊維板の JIS 規格改正委員会、ISO/TC89 (木質パネル) 国内審議委員会 で委員長を務めるなど構造用木質面材料

■社会活動

木質構造研究会理事、日本木材学会常任理事、日本木材加工技術協会常任理事などを歴任



ささき ゆきひさ

佐々木 幸久 (山佐木材株式会社 代表取締役)

■略歴

1946年 生まれ

1968年 九州大学理学部中退

1968年 山佐産業株式会社 入社

1987年 山佐木材株式会社 代表取締役社長 現在に至る

■社会活動

鹿児島県木材協同組合連合会副会長、一般社団法人日本CLT協会理事、日本集成材工業協同組合理事長など

■受賞歴

第40回木材加工技術賞・市川記念賞、第40回グリーン賞、かごしま産業経済大賞



かじき ももとし

加治木 百年 (株式会社センチュリーハウス 代表取締役)

■略歴

1968年 霧島市国分生まれ

加治木工業高校卒業後、大阪の中堅ゼネコンでマンション、オフィスビル等の建設技術者として従事

その後、地元鹿児島に帰り、住宅建設業、不動産業を学び、センチュリーハウスを創業

現在、県内初となるCLTを用いた3階建て賃貸集合住宅を始良市に建築中

